

『天意はここに実在する』

～天御中主神示集IV～

【はじめに】

宗教的精神にとって最も大切なものは、天の御心が一体どこにあるのかということです。哲学的に、「時代精神」や、「世界精神」と云われているものの本質も、ここにあります。

この天の御心を、「預言」という形で、天啓として、御神示として預らせていただくのが、真なる「預言者」の天命であります。それ故に、「預言者」は、圧倒的なる神の光明の内流を前にして、「預言」が「預言」であることを宣べ伝えさせていただく立場と責任があると言えるのです。

それ故に、私は、宗教的な「光」の洞察と、哲学的な「大宇宙大自然に則った真理」の洞察の下に、はっきりと、一貫して、「天意はここに実在する」と断言させていただきたいのであります。

そのことは、一貫して私の宣べ伝えさせていただいている書籍を御覧になられている方々に、よく御判別いただけることと存じます。

天意が過去にもあり、未来にもあり、そして、「今」現在進行形でありつづけるということが、「光ある時に光の内を歩め」という真理からも、大切なことであるのです。

既に公開されている御神示も、未だ書籍として公開されていない御神示も合わせると、膨大な質と量になります。この御神示集こそが「神」の御本体であられ、神代の「神」の御降臨であられ、「大如来」の御降臨であられます。

その意味において、古来より日本において成されていた「預言」は、既に成就していると言えるのです。

その上で大切なことは、この膨大な質と量を持つ御宝としての御神示集の下に、「大宇宙大自然に則った真理」を体得し、実践しつづけ、眞の意味で、「自他一体」に幸福になってゆくことが出来るかということあります。

どうか、その意味で、お一人でも「神」直説の「法」を実践され、心身共に幸福になっていただきたいと、心の底より願っております。